

漢方薬で癒す
こころとカラダ

15

花粉症の鼻詰まりに柴苓湯

春になって花の便りが気になる季節になりましたが、同時に鼻の調子も気になって仕方がないという方々が増えます。そうです、季節の便りであるスギ花粉症です。鼻水や鼻詰まり、目の痒みが主な症状ですが、鼻水と目の痒みには抗ヒスタミン薬や小青竜湯、麻黄附子細辛湯などの漢方薬がそれなりの効果があります。その中で鼻詰まりだけはなんともし難いという場合に柴苓湯を追加します。柴苓湯は、日本で生み出された処方です。むくみをとる五苓散と炎症

柴苓湯 さいれいとう

【効能又は効果】

吐き気、食欲不振、のどのかわき、排尿が少ないなどの次の諸症：水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中!

を抑える小柴胡湯を合わせて作られました。鼻詰まりはアレルギー反応のために鼻の内側の粘膜が炎症を起こし、むくんで狭くなった状態ですから、柴苓湯の作用が十分期待できます。柴苓湯単独の治療でも、有効とやや有効を合わせた有効率は71.3%と報告されていますが、アレルギー薬や他の漢方薬との併用もできます。

（小児科部長 池野一秀）

